

1. 研究内容について

釧路支部主題 『自ら運動と向き合い、夢中になれる子供の育成』
～つながる体育学習～ (2017～)

<主題・副題の解説> 目指す子どもの姿

- 自ら運動と向き合う →自ら問題を見付ける、自ら課題を設定する(選ぶ)、自ら解決方法を選ぶ
自ら表現(交流)する
- 夢中になれる →運動に没頭する姿、人目を気にせずに運動
- つながる →友達と…、授業が…、技能が…。思考が…、日常に…、体力向上に…。

<研究の視点>

視点① 知識・技能のつながり～9年間のつながりに基づいた指導と評価

- (1) 子供の実態に応じた単元計画を立案
 - ・9年間のカリキュラムの活用 →
 - ・子供から見た特性から
 - ・体力向上につながる準備運動

『誰でも、いつでもパッと使える!』が目標

(2) 目指す子供の姿の明確化

- ・どのような子供たちの姿で単元を終えたいかを明確に
- ・個人の目指す姿、集団(学級・学年)としての目指す姿

(3) 評価内容の明確化

- ・観察の視点や意識するポイントを明確に

視点② 主体的な態度・思考・判断・表現のつながり～必要感の伴う問題場面の設定

- (1) 問題場面との出会い
 - ・問題を実感できる場面を作りだす教師の仕掛け～問題場面への出会い(学び、思考のきっかけ作り)
- (2) 課題の設定 と 解決方法の選択
 - ・問題場面から自分たちの課題を設定する(選ぶ)
 - ・課題を解決するための練習方法や場を考える(選ぶ)



視点③ 学びに向かう力とのつながり～交流場面の工夫

- (1) 意図のあるグルーピングと役割分担
 - ・リーダーの配置、技能差、コミュニケーション力等の配慮
 - ・役割分担とチームミーティング
- (2) 交流を活性化させるための工夫
 - ・全体共有の場
 - ・バディシステム
 - ・統一した視点
- (3) チームワークの意識の徹底
 - ・肯定的な雰囲気、支持的風土を醸成する



1. 研究内容について

釧路支部主題 『自ら運動と向き合い、夢中になれる子供の育成』
～つながる体育学習～ (2017～)

<主題・副題の解説> 目指す子どもの姿

- 自ら運動と向き合う →自ら問題を見付ける、自ら課題を設定する(選ぶ)、自ら解決方法を選ぶ
自ら表現(交流)する
- 夢中になれる →運動に没頭する姿、人目を気にせずに運動
- つながる →友達と…、授業が…、技能が…。思考が…、日常に…、体力向上に…。

<研究の視点>

視点① 知識・技能のつながり～9年間のつながりに基づいた指導と評価

(1) 子供の実態に応じた単元計画を立案

- ・9年間のカリキュラムの活用 →
- ・子供から見た特性から
- ・体力向上につながる準備運動

『誰でも、いつでもパッと使える!』が目標

(2) 目指す子供の姿の明確化

- ・どのような子供たちの姿で単元を終えたいかを明確に
- ・個人の目指す姿、集団(学級・学年)としての目指す姿

(3) 評価内容の明確化

- ・観察の視点や意識するポイントを明確に

視点② 主体的な態度・思考・判断・表現のつながり～必要感の伴う問題場面の設定

(1) 問題場面との出会い

- ・問題を実感できる場面を作りだす教師の仕掛け～問題場面への出会い(学び、思考のきっかけ作り)

(2) 課題の設定と解決方法の選択

- ・問題場面から自分たちの課題を設定する(選ぶ)
- ・課題を解決するための練習方法や場を考える(選ぶ)



視点③ 学びに向かう力とのつながり～交流場面の工夫

(1) 意図のあるグルーピングと役割分担

- ・リーダーの配置、技能差、コミュニケーション力等の配慮
- ・役割分担とチームミーティング

(2) 交流を活性化させるための工夫

- ・全体共有の場
- ・バディシステム
- ・統一した視点

(3) チームワークの意識の徹底

- ・肯定的な雰囲気、支持的風土を醸成する

